

文部科学省 大学教育・学生支援推進事業

学生支援推進プログラム 就職支援推進プログラム

取組名称：学生の自立を支援する就職基礎力養成に関する取組み（平成21年度～23年度）相模女子大学

【目的と概要】

昨今の学生気質の変化の中で、学生の自立を促進させることを目的に、学部教員と職員の連携の下、カウンセリング、個別面接指導や就職準備講座等においてコミュニケーションスキル及び問題解決能力並びに自己管理能力、学習経験に基づく社会性を高める取組みを行った。また、就職活動にあたり必要とされる基礎学力の涵養をはかり、就職率のアップにつながることを目指した。

入学後社会へ羽ばたくまでの期間が短い学生に対しては、働くことに対する意識を高める種々の施策を実施し、キャリア観の育成を図った。また、様々な機会提供を通じ、学生の社会性と実践力を高めるための取組みを行った。また、就職にあたり必要とされる資質・能力の向上（資格取得）や基礎学力の涵養を図り、就職率のアップを目指した。

【内容】

学生が将来の進路先に満足し、社会で自立できるよう教職員はもとより、外部専門家を招いたりデジタルデータ等を活用し、リアルタイムで学生に情報提供及び個別指導を行うことにより、支援の充実、向上を図った。キャリアカウンセラーを配置し、就職に関するさまざまな相談に対応できるようにした。社会人として羽ばたくまでの期間が短い学生に対しては、入学直後に職業適性検査を行う。さらに、就職に有利な資格の取得支援を行うことにより、職業選択の幅を上げられるよう努めた。また、就職支援システムを導入し、本学独自の求人サイト（さがみナビ）により、リアルタイムに求人票を閲覧できるようにするなど複合的な支援を行った。

企業開拓は出身学生数の多い地方自治体・地域に所在する企業訪問を行い、学内においては、年間数回の合同企業説明会を実施し、企業と学生のマッチングを図った。意欲的な学生に対しては、学外施設で1泊2日の就職合宿を実施した。この就職合宿は、就職準備講座の総復習やマナーを含む面接練習などの実践的な内容となっている。また、未内定学生に対するキャリアガイダンスとして、エントリーシート作成対策などを実施し、モチベーションの維持・アップを図った。筆記対策として就職試験の第一関門であるSPI2対策講座を提供した。一日体験インターンシップにおいては、学生が実際の職場を体験し、働くことに具体的なイメージを描けるようにした。

【成果】

キャリアカウンセラーの導入

多岐にわたる相談内容に適切に対応できるようキャリアカウンセラーを配置した。その結果、学生に対する実務面、精神面のフォローは成果が見え、学生との信頼関係の強化を図るとともに、保証人対象の就職懇談会でも保証人からの悩み相談を受け、適切な対応を行った。マナーを含む面接対策では、ポイントを押さえた指導が内定獲得に効果を上げている。

就職支援システム（さがみナビ）の導入

パソコン購入と同時に本学独自の求人サイト（さがみナビ）を構築し複合的支援を行った。これまでの紙ベースの求人票に加え、メールでの情報配信サービスが可能となったことで、瞬時に求人を学生に提供できるようになった。学外からも情報収集が可能となり、タイムラグを減らすことができた。また、求人件数に関して、導入前（平成20年度）の2,248件に対し、平成21年度の求人件数は4,438件と倍増した。

助成金交付前後の求人数の推移

年度	求人数
平成20年度	2,248件
平成21年度	4,438件
平成22年度	3,946件
平成23年度	5,130件

企業開拓・学内合同企業説明会

内定企業を中心に企業訪問を強化した。企業が求める人材と学生の希望条件をマッチングさせることにより、よりきめの細かい支援を行った。学内合同企業説明会においては、訪問企業を中心に招聘し実施した。

また、外部の就職フォーラムや就職面接会に学生を引率し、たくさんの参加企業から学生の希望する条件に近い企業を斡旋することにより企業と学生のマッチングを図った。その他、Uターンの支援として、出身学生数の多い地方自治体・地域における企業訪問を行い、その中で得た情報をUターン就職情報として学生にフィードバックするとともに、合同企業説明会に積極的に地方自治体の参加を呼びかけ、学生に帰省先の求人情報や求人倍率等の情報を提供した。

過去3年間の学内合同企業説明会の開催状況

年度	開催月	回数
平成21年度	4月～12月、翌2月	12回
平成22年度	4月、5月、7月、8月、10月、翌2月	10回
平成23年度	4月、5月、7月、8月、10月、翌2月、3月	11回

就職合宿

就職準備講座を一通り終えた時期に、復習と面接対策をメインに希望者を対象に実施した。模擬を中心に経験することにより、本番の面接の不安を解消させ、参加学生が切磋琢磨し、更に意欲をアップさせる機会となったようである。

キャリアガイダンスの実施

未内定学生に対し、フォロー講座やエントリーシート対策、筆記対策講座等を実施し、就職活動への意欲の増進を図った。フォロー講座については、開催時期を早め、回数を増やすなどの工夫をした。エントリーシート対策では、講座終了後も添削指導を行うなどきめ細かい支援を継続し、書類通過に効果を上げた。また、未内定のまま卒業した卒業生に対して、本学独自の求人サイト（さがみナビ）を既卒者向けにも利用を許可し、既卒者が可能な求人を見ることができるようにした。

一日インターンシップの実施

1日インターンシップを実施し、学生が企業の実際の現場を体験する機会を提供した。その結果、学生は、業界・職種への理解を深め、視野を広げる機会を提供することにより、就職に対するモチベーションも高まった。加えて、就労後のミスマッチを減少させる効果も期待できるものと考えている。

取組名称：就職力の向上とキャリア育成に関する取組み（平成21年度～22年度）
相模女子大学短期大学部

【目的と概要】

昨今の学生気質の変化の中で、学生の自立を促進させることを目的に、学部教員と職員の連携の下、カウンセリング、個別面接指導や就職準備講座等においてコミュニケーションスキル及び問題解決能力並びに自己管理能力、学習経験に基づく社会性を高める取組みを行った。また、就職活動にあたり必要とされる基礎学力の涵養をはかり、就職率のアップにつながることを目指した。

入学後社会へ羽ばたくまでの期間が短い学生に対しては、働くことに対する意識を高める種々の施策を実施し、キャリア観の育成を図った。また、様々な機会提供を通じ、学生の社会性と実践力を高めるための取組みを行った。また、就職にあたり必要とされる資質・能力の向上（資格取得）や基礎学力の涵養を図り、就職率のアップを目指した。

【内容】

学生が将来の進路先に満足し、社会で自立できるよう教職員はもとより、外部専門家を招いたりデジタルデータ等を活用し、リアルタイムで学生に情報提供及び個別指導を行うことにより、支援の充実、向上を図った。キャリアカウンセラーを配置し、就職に関するさまざまな相談に対応できるようにした。社会人として羽ばたくまでの期間が短い学生に対しては、入学直後に職業適性検査を行う。さらに、就職に有利な資格の取得支援を行うことにより、職業選択の幅を拓かれるよう努めた。また、就職支援システムを導入し、本学独自の求人サイト（さがみナビ）により、リアルタイムに求人票を閲覧できるようにするなど複合的な支援を行った。

企業開拓は出身学生数の多い地方自治体・地域に所在する企業訪問を行い、学内においては、年間数回の合同企業説明会を実施し、企業と学生のマッチングを図った。記対策として就職試験の第一関門であるSPI2対策講座も提供した。一日体験インターンシップにおいては、学生が実際の職場を体験し、働くことに具体的なイメージを描けるようにした。

【成果】

キャリアカウンセラーの導入

多岐にわたる相談内容に適切に対応できるようキャリアカウンセラーを配置した。その結果、学生に対する実務面、精神面のフォローは成果が見え、学生との信頼関係の強化を図るとともに、保証人対象の就職懇談会でも保証人からの悩み相談を受け、適切な対応を行った。マナーを含む面接対策では、ポイントを押さえた指導が内定獲得に効果を上げている。

就職支援システム（さがみナビ）の導入

パソコン購入と同時に本学独自の求人サイト（さがみナビ）を構築し複合的支援を行った。これまでの紙ベースの求人票に加え、メールでの情報配信サービスが可能となったことで、瞬時に求人を学生に提供できるようになった。学外からも情報収集が可能となり、タイムラグを減らすことができた。また、求人件数に関して、導入前（平成20年度）の1,735件に対し、平成21年度の求人件数は3,462件と倍増した。

補助金交付前後の求人数の推移

年度	求人数
平成20年度	1,735件
平成21年度	3,462件
平成22年度	2,803件

就職に有利な資格取得の支援

企業の求人票では、募集する学部学科に「不問」と記載されていることが多く、選考過程では大学生と比較されることになる。そのため、社会人としての実務基礎能力の一つであるマイクロオフィススペシャリスト（MOS）検定講座と、ホームヘルパー2級講座を実施した。

平成22年度に実施した検定講座受講者の検定合格状況

資格	受験数	合格者数
MOS (Word)	20名	20名
MOS (Excel)	20名	17名
ホームヘルパー2級	25名	23名

キャリアガイダンスの実施

未内定学生に対し、フォロー講座やエントリーシート対策、筆記対策講座等を実施し、就職活動への意欲の増進を図った。フォロー講座については、開催時期を早め、回数を増やすなどの工夫をした。エントリーシート対策では、講座終了後も添削指導を行うなどきめ細かい支援を継続し、書類通過に効果を上げた。また、未内定のまま卒業した卒業生に対して、本学独自の求人サイト（さがみナビ）を既卒者向けにも利用を許可し、既卒者が可能な求人を閲覧できるようにした。

一日インターンシップの実施

1日インターンシップを実施し、学生が企業の実際の現場を体験する機会を提供した。その結果学生は、職種・職業への理解が深まり、就職に対するモチベーションも高まった。加えて、就労後のミスマッチを減少させる効果も期待できるものと考えている。